

參考資料 4 用語集

用語リスト（和文）

あ 行

悪臭
 アクセシビリティ
 アクセスコントロール
 アグロフォレストリー
 アジア開発銀行
 アフリカ開発銀行
 アプローチ
 異常波浪
 一般廃棄物
 移動耕作
 インシャルコスト
 入会権
 ウィーン条約
 WID（開発と女性）
 ウォーターフロント
 エアサイド
 AGT
 N値
 塩水くさび（塩水遡上）
 横断勾配
 横断面構成
 OD調査
 オーバーラン・エリア
 汚染者負担の原則
 汚濁

か 行

海域制御
 海岸浸食
 海洋レクリエーション
 化学的酸素要求量
 加重等価平均感覚騒音レベル
 滑走路

か 行 続き

可能交通容量
 環境基準
 完全立体交差
 軌間
 気象状態
 基本交通容量
 橋脚
 橋台
 橋長
 共同溝
 胸壁
 橋梁
 共有財産
 漁港
 くい（杭）式
 車止め
 計画交通量
 計画水準
 景観
 経済協力開発機構
 系統制御
 原生地
 建設残土
 建築限界
 高架線
 航空貨物ターミナル
 航空機地上支援装置・車輛
 航空交通管制
 航空障害灯
 航空路監視レーダー
 航行援助施設
 工食用機械
 工食用車輛
 交通安全施設
 交通管制システム

か 行 続き

交通管理施設
 交通密度
 交通容量
 交通量配分
 後背地
 港湾
 港湾施設
 国連アジア太平洋経済社会委員会
 国連環境計画
 固有種
 コントロール・ポイント

さ 行

サテライト
 珊瑚礁
 GRT
 時間便益
 地滑べり
 実用交通容量
 地盤沈下
 地盤崩壊
 縦断線形
 住民移転
 ショルダー
 深海域
 新交通システム
 親水性
 浸透
 振動
 水質汚濁
 水生生物
 水文学
 水利権

さ行 続き

スーパーファンド法
スラブ軌道
生息地
生態系
生物化学的酸素要求量
生物学的多様性
世界遺産条約
世界銀行
設計基準交通量
設計交通容量
設計速度
設計波高
浅海域
線形
先住民
線路容量
騒音
操車場
測量

た行

ターミナル
ターミナル管制情報処理システム
大気汚染
大量輸送機関
短尺レール
弾性波探査
地域社会
地下水位
地上交通
地層
トンネル
長尺レール
導流堤
土壌汚染

た行 続き

土壌浸食
土地所有権
トリップ

な行

波返し
二酸化炭素
二酸化窒素
熱帯雨林
熱帯林
熱帯林行動計画
法面保護

は行

バーゼル条約
パーティトリップ調査
媒介動物
バラストレス軌道
ハンガー
ピア
ピーク率
微気象
飛行場最低気象条件
漂砂
表土
貧栄養海域
富栄養化
富栄養海域
部民族
文化財
粉じん
閉鎖水域
ベラジオ会議

は行 続き

保線

ま行

マリーナ
マングローブ
藻場
モトリオール議定書

や行

誘導路(クソケイ)
養浜

ら行

ラムサール条約
ランディングエリア
流域
流況
列車運転システム
列車自動制御装置
列車自動停止装置
列車集中制御装置
レドデータブック
路盤
ロングレール

わ行

渡り棧橋
渡り鳥保護条約

A

abutment	橋台
access pier	渡り棧橋
access bridge	渡り棧橋
accessibility	アクセシビリティ
accessibility to waterfront	親水性
ACCT (Air Cargo City Terminal)	航空貨物ターミナル
ADB (Asian Development Bank)	アジア開発銀行
AfDB (African Development Bank)	アフリカ開発銀行
agroforestry	アグロフォレストリー
AGT (Automated Guideway Transit)	エージーティー
air pollution	大気汚染
air side	エアサイド
alignment	線形
approach	アプローチ
aquatic biota	水生生物
aquatic fauna and flora	水生生物
aquatic life	水生生物
ARSR (Air Route Surveillance Radar)	航空路監視レーダー
artificial nourishment	養浜
ARTS (Automated Rader Terminal System)	ターミナル管制情報処理システム
ATC (Air Traffic Control)	航空交通管制
ATC (Automatic Train Control Device)	列車自動制御装置
ATS (Automatic Train Stop Device)	列車自動停止装置

B

ballastless track	バラストレス軌道
Basel Convention	バーゼル条約
basic capacity	基本交通容量
beach erosion	海岸浸食
bed	地層
Bellagio Commission	ベラジオ会議
biodiversity	生物学的多様性
biological diversity	生物学的多様性
BOD (Biochemical Oxygen Demand)	生物化学的酸素要求量
bridge	橋梁
bridge length	橋長
buffer stop	車止め

C

carbon dioxide (CO ₂)	二酸化炭素
channelization	チャンネルゼーション
clearance	建築限界
COD (Chemical Oxygen Demand)	化学的酸素要求量
common duct	共同溝

C 続き

common property	共有財産
community	地域社会
component of cross section	横断面構成
concrete slab track	スラブ軌道
construction machine	工所用機械
continuous welded rail	ロングレール
control of access	アクセスコントロール
control point	コントロールポイント
Convention for the Protection of the World Cultural and Natural Heritage	世界遺産条約
coordinated control	系統制御
coral reef	珊瑚礁
crossfall	横断勾配
CTC (Concentrated Train Control)	列車集中制御装置
cultural property	文化財

D

deep sea	深海域
design capacity	設計交通容量
design speed	設計速度
design wave height	設計波高
designed traffic volume	計画交通量
drift sand	漂砂
dust	粉じん

E

ecosystem	生態系
elastic wave survey	弾性波探査
elevated railroad	高架線
endemic species	固有種
environmental standard	環境基準
ESCAP (Economic and Social Commission for Asia and the Pacific)	国連アジア太平洋経済社会委員会
eutrophication	富栄養化
extreme waves	異常波浪

F

fishing port	漁港
--------------	----

G

gauge of track	軌間
ground transportation	地上交通
groundwater level	地下水位

G 続き

group rapid transit GRT
 GSE (Ground Service Equipment) 航空機地上支援装置・車輛

H

habitat 生息地
 hangar ハンガー
 harbor facilities 港湾施設
 harbor port 港湾
 hinterland 後背地
 hydrological regime 流況
 hydrology 水文学

I

ICBP (International Council
 for Bird Preservation) 渡り鳥保護条約
 IMC (Instrument Meteorological
 Condition) 気象状態
 indigenous people 先住民
 infiltration 浸透
 initial cost イニシャルコスト

J

jetty 導流堤

L

land ownership 土地所有権
 landcreep 地滑べり
 landing area ランディングエリア
 landscape 景観
 landslide 地盤崩壊
 land subsidence 地盤沈下
 level of service 計画水準
 line capacity 線路容量
 littoral drift 漂砂
 long welded rail ロングレール
 longer rail 長尺レール

M

maintenance of way 保線
 manger board 波返し
 mangrove マングローブ
 marina マリーナ
 marine recreation 海洋レクリエーション
 mass transit 大量輸送機関

M 続き

micro meteorology
Montreal Protocol

微気象
モントリオール議定書

N

N value
NAVAIDS (Navigation Aids)
new transportation system
nitrogen dioxide (NO₂)
noise

N値
航行援助施設
新交通システム
二酸化窒素
騒音

O

obstruction light
OECD (Organization for
Economic Co-operation
and Development)
offensive odor
on-site vehicles
origin-destination survey
overrun area

航空障害灯
経済協力開発機構

悪臭
工事用車両
OD調査
オーバーラン・エリア

P

parapet wall
peak factor
person trip survey
pier
pier
pile type
polluter pays principle (p. p. p)
pollution
poor nutrient zone
possible traffic capacity
practical capacity

胸壁
ピーク率
パーソントリップ調査
橋脚
ピア
くい(杭)式
汚染者負担の原則
汚濁
貧栄養海域
可能交通容量
実用交通容量

R

R/W (Runway)
Ramsar Convention
recurved parapet
Red Data Books
resettlement
rich nutrient zone
right of common
river basin
roadbed

滑走路
ラムサール条約
波返し
レッドデータブック
住民移転
富栄養海域
入会権
流域
路盤

S

salt-wedge (salt-water intrusion)	塩水くさび (塩水遡上)
satellite	サテライト
sea weather control	海域制御
semi-closed water area	閉鎖水域
shallow sea	浅海域
shifting cultivation	移動耕作
shorter rail	短尺レール
shoulder	ショルダー
slope protection	法面保護
soil contamination	土壤汚染
soil erosion	土壤浸食
solid waste	一般廃棄物
standard design volume	設計基準交通量
stratum	地層
submarine forest	藻場
Superfund	スーパーファンド法
survey	測量

T

T/W (taxway)	誘導路 (タクシーウェイ)
terminal concept	ターミナル
The World Bank	世界銀行
time benefits	時間便益
top soil	表土
traffic capacity	交通容量
traffic control device	交通管理施設
traffic control system	交通管制システム
traffic density	交通密度
traffic assignment	交通量配分
traffic safety device	交通安全施設
train operation system	列車運転システム
training levee	導流堤
tribal people	部民族
trip	トリップ
Tropical Forest Action Plan	熱帯林行動計画
tropical forest	熱帯林
tropical rain forest	熱帯雨林

U

underwater forest	藻場
UNEP (United Nations Environment Programme)	国連環境計画

V

vector	媒介動物
vertical alignment	縦断線形

V 続き

vibration
Vienna Treaties
VMC (Visual Meteorological
Condition)

振動
ウィーン条約
気象状態

W

waste dumps
water pollution
water right
waterfront
watershed catchment area
weather minimum
WECPNL (Weighted Equivalent
Continuous Perceived Noise Level)
wild land
Women in Development

建設残土
水質汚濁
水利権
ウォーターフロント
流域
飛行場最低気象条件
加重等価平均感覚騒音レベル
原生地
WID (開発と女性)

Y

yard

操車場

項	目	内	容
悪臭	offensive odor	不快なおい。悪臭物質とは不快なおいの原因となつて生活環境をそこなうおそれのある物質をいう（悪臭防止法、第2条）。悪臭は、一般に極めて低い濃度で感知され、苦情の主なもの、頭痛、吐き気、息苦しさ（強臭）、食事がまずい、いらいらする（中濃度臭気）、気にかかる、いやな感じがする（低濃度臭気）などである。	
アクセシビリティ	accessibility	旅行、移動の目的地となる施設への到着のしやすさ、自動車による接近のしやすさ、地域全体としての道路網、交通機関等のネットワークの整備状況の程度など、広い意味で使用される。	
アクセスコントロール	control of access	道路に隣接している土地、建物、あるいは交差する道路から、当該道路への出入りが完全または部分的に制限されている状態をいう。外国においては、この他採光、通風、景観などの道路と関連する権利が制限されている状態をさす場合もある。	
アグロフォレストリー	agroforestry	同じ土地を木質永年作物（木材生産のための材木、燃料木、果樹等）と農作物または家畜飼育の両方に用いる土地利用システム。これらは空間的、また時間的に連続して配置され、生態的・経済的相互作用をもつ。形態としては主に①農作物と樹木、②放牧地と樹木、③家庭菜園と樹木、④マングローブ生態系における漁業などがある。	
アジア開発銀行	ADB (Asian Development Bank)	アジアおよび極東地域の経済成長、経済協力を助長し、同地域内の開発途上にある加盟国の経済開発を促進することを目的とし、1966年に創設された開発融資機関で、1991年現在の加盟国は52ヶ国である。	
アフリカ開発銀行	AfDB (African Development Bank)	1964年発足。加盟国政府、政府企業、民間企業に対する借款、アフリカ域内開発銀行に対する借款等の業務の他、技術援助も行っている。	

項	目	内	容
アプローチ	approach	アプローチには次の4種の意味がある。①住宅地計画において、建物と道路とをつなぐ道。取付け道路。②都市計画において広義には幹線（補助幹線）道路より地域、地区への導入路。③入口から建物玄関へ至る道のりまたはその景観。④計画の核心へ至る順序。	
異常波浪	extreme waves	極値統計によるN年確率波高、再現期間N年の波高などと呼ばれる異常極大値を示す波浪。	
一般廃棄物	solid waste	日常生活に伴って排出されるごみやし尿。日本では、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「産業廃棄物以外の廃棄物」と定義されている。	
移動耕作	shifting cultivation	焼畑農耕(slash and burn agriculture)、スウィッデン農業(swidden agriculture)と同義。林地を刈払いまたは焼払った後に数年間作付けし、土地の劣化とともに次の林地に移動する形態。主として熱帯林および山岳林において行われている。作付けされる作物、耕作期間や休閑年数にはかなり多様性があり、元来、低人口密度の熱帯で行われていた長期の休閑を伴う小規模の焼畑は生態学的にも非常に良く適応されていた。	
仁ヤルコスト	initial cost	交通施設の建設、維持・管理に必要な費用のうち、初期段階の費用をいう。すなわち、供用までに必要な用地費、測量費、調査費、工事費などの費用を指す。	
入会権	right of common	特定地域の住民の団体が、特定の山林・原野の共同利用を営む慣習上の権利。	

項	目	内	容
ウィーン条約	Vienna Treaties	正式名称は「オゾン層の保護に関するウィーン条約」といい、1985年に採択された。その中では、国際的に協調してオゾン層や、オゾン層を破壊する物質についての研究を進める規定を盛り込んでいるほか、各国が対策を行うこと、将来議定書が合意されたら、それに従い、さらに、各国共通の対策を行うことを定めている。	
W I D (開発と女性)	Women in Development	1975年の「国連婦人年」と、これに続く「国連婦人の10年」を契機として、広く世界に認識されるようになってきた。開発における女性の役割に対する考え方で、近年は、ジェンダー(gender)の問題ともよばれている。「受益者のみならず、開発の担い手として開発のすべての分野、およびプロセスに女性が積極的に参加すること」を基本的考え方に女性の全般的な地位向上をめざしている。	
ウォーターフロント	waterfront	水際線に接する陸域およびそれにごく近い水域。	
エアサイド	air side	ターミナルビルからみて、航空機の発着する地域全般を指す言葉。	
A G T	Automated Guideway Transit	専用のガイウェイ上を完全自動運転の車両を運航させる軌道輸送システムの総称。	
N値	N value	N値とは標準貫入試験により求められる値であり、重量63.5kgのハンマーを75cm自由落下させ標準貫入試験用サンプラーを地盤中に30cm打ち込むのに要する打撃数をいう。	
塩水くさび (塩水遡上)	salt-wedge (salt-water intrusion)	河口付近において海水が河道を内陸部にまで侵入する現象で、その侵入の長さは河川の流量と潮差の大小に影響される。日本の河川の場合、潮差が0.5m以下では海水が河川水の下部をくさび状に遡上し、これを塩水くさびという。	

項	目	内 容
横断勾配	crossfall	路頂から車道端または舗装端までの勾配で百分率で表す。
横断面構成	component of cross section	道路の横断面の全体の構成のことであり、その構成要素は次のとおりである。1) 車道(車線等によって構成される道路の部分)、2) 中央帯、3) 路肩、4) 停車帯(車道の一部)、5) 歩道または自転車歩行者道、6) 自転車道
OD調査	origin-destination survey	トリップの出発地および目的地の調査で、1915年アメリカのニューヨークで行われたのを初めとして、自動車交通の増大とともに、盛んに行われるようになってきた。特に人の動きに着目した調査をパーソントリップ調査、物の動きに着目した調査を物資流動調査という。
オーバーラン・エリア	overrun area	滑走路末端(runway threshold)の外側に設置された過走用の区域を指す。
汚染者負担の原則	polluter pays principle (p. p. p)	汚染物質を出しているものは、公害を起こさないよう、自ら費用を負担して必要な対策を行なうべきであるという考え方である。先進国が集まる国際機関であるOECD(経済協力開発機構)が提唱したもので、現在では、世界各国で環境保護の基本となっている。この原則は、企業に厳しい公害対策を求める国とそうでない国とがあると公正な貿易ができなくなるので、こうした事態を避けるために作られたのが最初。今日では、地球環境の保全にもこの考え方をあてはめるべきだとの意見がある。
汚濁	pollution	汚れを表す語。日本の法律は水の汚れを表す場合に汚濁の字を使い、大気の汚れを表す場合に汚染の字を使っているが法律その他で定義され区別された語ではない。

項	目	内 容
海域制御	sea weather control	ある海域の波浪、潮流、天候などの自然状況を海洋施設などにより、人為的に操作すること。
海岸浸食	beach erosion	波浪による破壊や岩石の風化作用によって海岸線が削られ、後退する現象。砂浜海岸では堆積物の移動が容易であるため、変化量が大きい。また岩石海岸でも、節理・層理に浸食作用がはたらくと、浸食速度は大きくなる。
海洋レクリエーション	marine recreation	海水浴、ダイビング、サーフィン、船遊び、釣りなどの海洋の特性を直接生かしたレクリエーション。
化学的酸素要求量	COD (Chemical Oxygen Demand)	排水中の有機物、亜硝酸塩、第一鉄塩、硫化物などによる酸素消費量を化学的に定量し、水質汚濁の一つの指標としたもの。CODの単位はppmで示し、値が小さいほど、水質汚濁は小さい。
加重等価平均感覚騒音レベル	WECPNL (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level)	航空機の1日の総騒音量を評価する国際的な単位で、通過全航空機のEPNL(実効感覚騒音レベル)を夜間の分は加重して足し合わせ、1日あたりの平均をとった騒音評価値をいう。
滑走路	R/W (Runway)	航空機が離発着する際、加速減速のため地上滑走する路面で、アスファルトまたはコンクリートで舗装される。滑走路の長さは就航する航空機によって定められるが、大型機の場合は通常2,500m以上必要である。方位は二桁の数字で表わされ、「滑走路16」と表示された場合は、方位160°の方向に向いている滑走路を指す。

項	目	内 容
可能交通容量	possible traffic capacity	現実の道路においては容量に制約を与える障害が必ず存在し、通しうる自動車台数は全く理想的な場合の基本交通容量の値をかなり下回るのが普通である。このように与えられた道路条件および交通条件のもとで一つの道路または車線上の一点を通過できる時間当たり最大交通量をいう。
環境基準	environmental standard	法律に定められた趣旨に基づき環境保全措置のよりどころとして、一定の手続を経て設定される、環境にかかわる条件。環境の質にかかわる基準 (Environmental quality standard) と、環境を汚染することを防止するための規制基準、製品基準の3つを含めていう場合がある。
完全立体交差		交通動線の処理方式から分類した場合の一形式であって、平面交差を含まず、どの方向にも接続する独立したランプをもった交差形式である。
軌間	gauge of track	左右のレール頭部間の最短距離。一般に、標準軌 (Standard gauge) 1,435mm、広軌 (Broad gauge) 1,676mm、狭軌 (Narrow gauge) 1,067mmと称している。
気象状態	IMC (Instrument Meteorological Condition), VMC (Visual Meteorological Condition)	VMC有視界気象状態とは、操縦者が目視により飛行するのに十分な視程 (目視できる最大距離) 及び航空機から雲までの距離を考慮して、航空機の飛行する高度と空域別に定めた下表以上の気象状態をいい、それ以外の気象状態をIMC計器気象状態という。
基本交通容量	basic capacity	理想的な道路および交通条件のもとで、車線あるいは道路上の1断面を1時間に通過できる乗用車の最大数。どの道路の交通容量を算定する場合にも基本とする容量である。

項	目	内	容
橋脚	pier	橋梁の下部構造のひとつで、2径間以上の橋梁の中間部にあつて、上部構造からの荷重を支持地盤に伝える構造部分。ピアーともいう。	
橋台	abutment	橋梁の両端にあつて、一般に取付け道路用の盛土と橋台背面からの土圧および橋台自身の荷重を支持する。アバットとも呼ぶ。	
橋長	bridge length	橋の長さのことで、一般に両端橋台のバラベツト（胸壁）前面間の橋中心線の長さで定義される。	
共同溝	common duct	道路に埋設される公益物件を一括して収容するため道路管理者が道路の地下に設置する施設。共同溝は道路の占用工事による掘り返しを防止することにより道路構造の保全と円滑な交通の確保を図ることを目的とするもので、電気、電話、ガス、上・下水道、工業用水道のうち二者以上の参加があつた場合に道路の付属物として道路管理者が設置する。	
胸壁	parapet wall	橋台上部に位置し、背面の土砂やその上における自動車などによる土圧を支持する構造部分。バラベツトとも呼ぶ。	
橋梁	bridge	川、谷、海峡、湖沼あるいは交通路（運河、道路、鉄道）等を横切り、その下方に空間を存して建設された通路およびこれを支持する構造物の総称。	
共有財産	common property	集団によって管理する所有形態。非所有者はその資源へアクセスすることができない。	
漁港	fishing port	天然または人工の漁業の根拠地となる水域、陸域や施設。	
くい（杭）式	pile type	海底に打ち込んだくい（杭）で、上部構造を支持する固定式構造形式。	

項	目	内 容
車止め	buffer stop	列車または車両が、過走又は逸走するのを防止するために軌道の終端に設ける設備。
計画交通量	designed traffic volume	道路計画の基礎となる自動車等の交通量で通常一日単位の交通量で表現する。計画される道路の構造、規模などを決定する際に最も基本となるのが、この計画交通量であり、地域の将来の人口、経済活動の動向、自動車の保有台数等を勘案して決定される。
計画水準	level of service	道路計画において、車線数、構造等を決定するに当たり、当該道路の重要性に応じて交通にサービスする度合いを定め、設計に用いる交通容量に、交通量、交通容量比（V/C）を乗じ、計画道路の容量を定める。
景観	landscape	地球表面上のある種類の区域を区別し、かつ、それに他の種類の地域に対比する区別用の型を与える特性の全体。すべての種類の土壌は1つの特徴的な自然景観を持つといわれ、また別な用法において、それは1つ以上の特徴的な文化景観を持つといわれる。
経済協力開発機構	OECD <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Organization for Economic Co-operation and Development </div>	1961年にOECEが改組され発足した機構で、経済成長・開発途上国援助・貿易の拡大を目的とし、下部機構に、経済政策委員会・貿易開発委員会・開発援助委員会（DAC）の3大委員会を持つ。1991年現在の加盟国は24ヶ国。事務局はパリにある。
系統制御	coordinated control	二つ以上の交通信号の間に通信装置を設けて、それぞれの信号が交通状況に適合するように、赤青黄の表示順序、現示率などを制御することをいう。
原生地	wild land	人間の手の加えられていない自然の土地もしくは水域。

項	目	内 容
建設残土	waste dumps	建設工事に伴って発生する土砂類。日本では従来、海面埋立や内陸の宅地造成に利用されてきたが、近年は環境保全の立場から埋立規制が厳しく、その処分が困難となってきている。
建築限界	clearance	車両や歩行者の交通の安全を確保するために、道路上のある一定の幅、一定の高さの範囲内には障害となるものはおいてはいけないという空間確保の限界である。
高架線	elevated railroad	道路交通に必要な空頭（あきだか）以上に地盤より高く敷設された線路。
航空貨物ターミナル	ACCT (Air Cargo City Terminal)	空港と都心を結ぶために、市内に近い中継点に設けられる航空貨物の総合物流センター。ここでは輸出入貨物の取扱い、空港への陸上輸送、荷役・保管・情報および集荷・配送業務が行われる。
航空機地上支援装置・車輛	GSE (Ground Service Equipment)	航空機に燃料を供給する装置（ハイドラント）や電力を供給する装置（GPU）の他、一般にはトローリングトラクター、電源車、給油車、給水車、汚水車、リフトローダー、ベルトローラーケーターリング車、ステップ車などのランプサービス車輛を総称してGSE（車輛）と呼んでいる。
航空交通管制	ATC (Air Traffic Control)	航空機相互間の衝突防止や航空機と地上障害物との安全間隔の設定などとともに、航空交通の秩序と安全を維持することを目的としており、航空路管制と飛行場周辺管制に大別される。後者には飛行場管制、進入管制、ターミナル・レーダー管制及び着陸誘導管制がある。
航空障害灯	obstruction light	夜間や計器飛行状態の航空機の航行障害となる建築物等を視認させるための灯火のこと。地表から60m以上の高さの建築物等に赤色の点滅灯火の設置が義務付けられている。

項	目	内 容
航空路監視レーダー	ARSR (Air Route Surveillance Radar)	航空路用の長距離レーダーである。高出力を有し、高度21,000m、距離範囲360km内の航空機を探知できる。
航行援助施設	NAVAIDS (Navigation Aids)	飛行中の航空機に現在位置を知らせるため地上に設置された航行援助施設の総称。これには、VOR、NDB、ILS、SSRなどの無線航行援助施設と飛行場灯火が含まれる。
工事用機械	construction machine	コンクリートミキサーやコンプレッサーのように、固定ないしはレール上を動く設備の一切。
工事用車両	on-site vehicles	ブルドーザー・ショベルローダー・トラックなど全ての可動で運転手に操縦される機械からなる可動又は自走設備。
交通安全施設	traffic safety device	道路における交通の安全と円滑を確保するために設けられる立体横断施設、防護柵、照明施設、視線誘導標、道路反射鏡などの施設の総称である。
交通管制システム	traffic control system	道路交通を円滑にする目的で、車両感知器を始めとする交通情報収集機器と得られた情報により、交通信号の制御、あるいは可変な情報板により道路利用者への情報提供を行うシステムである。
交通管理施設	traffic control device	交通の円滑化と安全を図るために設ける道路標識、区画線、道路標示、非常電話、道路情報板、交通監視施設、交通信号機などの施設の総称である。
交通密度	traffic density	道路の単位区間に存在する車両の数をいう。通常は、1km当たり台数で表す。
交通容量	traffic capacity	道路を通過しうる最大の交通量をいい、基本的には1時間当たりで表す。

項	目	内	容
交通量配分	traffic assignment	道路網の各路線の各区分に、実際にどの程度の交通需要があるかを知るために、OD表の形で表された分布交通量を配分することをいう。	
後背地	hinterland	当該地域・施設の周囲に広がるそれらの社会、経済、文化活動などを支える圏域。	
港湾	harbor, port	天然または人工により風波をしのぎ、比較的安全に船舶の避難または停泊し得る水域。	
港湾施設	harbor facilities	港湾区域および臨港地区内において、港湾の利用または管理に必要な施設。	
国連アジア太平洋 経済社会委員会	ESCAP (Economic and Social Commission for Asia and the Pacific)	国連経済社会理事会の下部機構である地域経済委員会の1つとして1947年に設立され、現在ではアジア太平洋地域の経済社会開発のための協力機関として、種々の地域協力プロジェクトやスキームを打ち出している。	
国連環境計画	UNEP (United Nations Environment Programme)	1972年に設立された環境保全分野における国連の中心的機関。国連諸機関の活動の総合調整を行うとともに、環境保全活動を実施する各種機関への資金援助を通じた触媒的機能を担っている。	
固有種	endemic species	ある特定の地域にのみ存在する動植物の種。遠洋の孤島や孤立した高山などには、しばしば数多くの固有種がみられる。	

項	目	内 容
コントロールポイント	control point	道路の平面線形、あるいは縦断線形を設定する場合、その線形を制約する点。例えば、平面線形設定において避けるべき特定の家屋や建物、逆にそこしか通過できない特定の渡河地点や通過地点、縦断線形設定において、その線形を制約する交差道路や鉄道のけた下空間などがこれに当たる。広義には特定の地点ばかりでなく、路線選定を行う場合の山岳・河川・部落や集落、文化財や遺跡など、その路線の位置や通過地帯を制約する自然的・社会的・文化的地帯を指す。
サテライト	satellite	旅客ターミナルビルの構成のうち、搭乗ゲートラウンジ部分を切離して衛星状に配置した建物をサテライトと呼んでいる。サテライトの規模は大型機で数スポット分が一般的であり、メインビルとの間は動く歩道や新交通システムで連絡している例が多い。
珊瑚礁	coral reef	暖かい浅海域でポリプと呼ばれる小形の海生動物群によって造られるもので、世界で最も多様なかつ、生産性に富む生態系の一つであるといわれ、産出される魚は現在の漁獲量の約12%にあると推定される。
GRT	group rapid transit	AGTシステムの分類の一つ。十数人から数十人の乗客を一車両に乗せ、単体ないし2両連結程度で走行する車両を用いる新交通システムである。
時間便益	time benefits	道路整備による経済効果のうちの直接効果の一つ。道路の新設、改築によって交通渋滞が解消されたり、未舗装区間が舗装されたりすることによって道路利用者の走行速度が向上し、これにより節約される所要時間を時間評価値によって金額換算したものの。

項	目	内 容
地滑べり	landcreep	一般的には、地球表層のほとんど未固結の部分が自重によって動く現象のうち、ゆっくりした、あるいは間欠的な動きを地すべりという。傾斜が数度～20°の緩傾斜面で起こり、すべり速度が小さいので、土塊の原形をとどめていることが多い。
実用交通容量	practical capacity	実際の道路条件で満足できる走行状況で走行し得る最大の交通量で、通常1時間当たりで表される。設計交通容量もその一種である。
地盤沈下	land subsidence	地下水の過剰汲み上げによる粘土層の圧密沈下などによって、ある地域の地盤が徐々に低くなっていく現象。原因としては、この他に水溶性ガスの採取、地殻運動などが考えられ、厚い沖積層等では特に地盤沈下を生じやすい。
地盤崩壊	landslide	地すべりに対して移動速度が速く、人間の感覚でとらえられるような、表層物質の移動現象をいう。崩壊(slope failure)、崖くずれ(earthfall collapse)、山くずれ(landslip)、土砂くずれ(soil fall)などともよばれ、一般に粘着性のない粗粒材料からなる斜面で起こり、急速度ですべり落ちるので土塊は乱れて、原形をとどめない。
縦断線形	vertical alignment	道路の中心線が縦断的に描く形状。
住民移転	resettlement	住民の移転には、計画的な移転と不本意な移転とがあり、前者は農地の造成や新規灌漑事業などに伴う入植、遊牧民、移動耕作者の定着等に伴って生じる。工場立地やインフラ整備に伴って生じるのが後者であり、用地の取得や水没等により、住民にとって不本意な強制的な移転である。

項	目	内 容
ショルダー	shoulder	航空機が発着するランプ・エリアにおいて、エプロン舗装部分（航空機重量に耐える舗装部分）とランプ車輛通路など周辺の舗装部分との境界線を指す。
深海域	deep sea	水深が50m程度より深い海域。
新交通システム	new transportation system	広義には、新しい交通機関や既存システムの組合せによる新しいシステムの全般をさす。例えば、動く歩道や超高速鉄道などの新しい交通機関、自動車総合管制やパラトランジェットなどの新しい交通運用を含めた概念でとらえられる。しかし、狭義にはエレクトロニクスを初めとした新しい技術を取り入れて開発が進められてきた中量軌道運送システムにあてはめるのが普通である。
親水性	accessibility to waterfront	ウォーターフロントや水域を積極的に社会・生活環境に取り入れ、レクリエーション機能、リフレッシュ機能などを作り出す環境形成機能。
浸透	infiltration	①地表面を横切って水が土壤中へと浸透していく過程。②不飽和帯中を水が透水していく過程。③地下水が管の結合部などから下水に侵入すること。
振動	vibration	環境における振動とは、人工的な発生源によって引き起こされた地面振動によって、住環境に影響を与える現象をさし、一般に公害振動という。
水質汚濁	water pollution	何らかの有機物質や無機物質が加わって、その使用が害されるような天然水の変化、あるいは水温の変化をいい、水質汚染ともよばれる。原因となる物質としては、上記の他に、油、放射能核種、細菌、ウィルス、また、温排水等があげられる。

項	目	内	容
水生生物	aquatic fauna and flora, aquatic biota, aquatic life	河川、海、湖沼、湿地等に生育する生物で、水草・湿生植物・塩生植物・海藻等の大型水生植物、附着藻類、及び植物プランクトン等の小型の水生植物、並びに魚類などの遊泳動物、動物プランクトン等の浮遊動物、底生動物等の水生動物をいう。	
水文学	hydrology	地球上の水の存在、循環および分布、物理的ならびに化学的性質、更に水とそれの物理学的・生物学的環境との間の相互作用を取扱う科学。その作用の中には人間の活動に対する水の応答作用をも含む。	
水利権	water right	河川の流水を占有する権利。日本では、河川法に基づき、管理者の許可を得た者に河川流水を特別使用する権利が与えられる。また、慣習上の使用権は慣行水利権とよばれ、河川法の許可を受けたものとみなされている。	
スーパーファンド法	Superfund	正式には「総括的環境への対応・補償義務法（CERCLA）」といい、1980年アメリカで成立した法律で、有害廃棄物の投棄によって汚染された土壌や水を浄化するために、その資金を企業が出資するというシステムである。	
スラブ軌道	concrete slab track	バラストレス軌道のうち、コンクリート版を用いた軌道。	
生息地	habitat	生物の個体あるいは個体群がすんでいる場所のこと。すみ場、すみ場所ともいわれる。生息地は単に位置的場所としてではなく、問題にしている個体あるいは個体群にとっての生活環境として把握される。	
生態系	ecosystem	ある地域にすむすべての生物とその地域内の非生物的環境をひとまとめにし、主に物質循環やエネルギー流を注目し機能系として捉えたもの。	

項	目	内 容
生物化学的酸素 要求量	BOD (Biological Oxygen Demand)	(1) 一定温度で一定期間(通常、20℃、5日間)に有機物が生物化学的酸化のために消費される酸素量を測定する試験、(2) 液中の有機物の生物化学的酸化のために消費される酸素量。これが高いほど水質の汚濁がすすんでいる。日本の環境基準は河川類型別に定められており、BODの基準は1~10mg/l以下である。
生物学的多様性	biological diversity, biodiversity	生物の多様性とは、地球上の生物の多様さとともに、その生息環境の多様さを表す概念であり、「生態系の多様性」、「生物種の多様性」、「種内(遺伝子)の多様性」の3つのレベルから捉えられている。
世界遺産条約	Convention for the Protection of the World Cultural and Natural Heritage	正式名を「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」といい、1972年にUNESCO総会において採択された。この条約は、世界中の自然遺産・文化遺産のうち、人類共通の財産であり、後世に伝えるべき価値があると認められるものを世界遺産リストに登録し、加盟国にその保護を義務づけるとともに、世界遺産委員会・世界遺産基金を通じた国際協力を促進するものである。
世界銀行	The World Bank	正式名称を「国際復興開発銀行(IBRD)」といい、1945年に発効した国際復興開発銀行協定に基づき、国連内の機関として設けられた。現在はIBRD、IDA(国際開発協会)、IFC(国際金融会社)の3つの機関からなり、世界で最も影響力の大きい開発銀行である。
設計基準交通量	standard design volume	道路の車線数を決定するに当たり、設計の基本となる一車線当たり(二車線道路では、往復2車線当たり)一日の許容交通量ともいうべきもので、計画時点の年平均日交通量を、設計基準交通量で除した値を基本として車線数が決定される。

項	目	内	容
設計交通容量	design capacity	道路の設計に用いられる一時間当たりの交通容量。	
設計速度	design speed	道路の幾何構造を検討し、決定するための基本となる速度であり、天候が良好でかつ交通密度が低く、車両の走行条件が道路の幾何構造に支配されている場合に、平均的な技量をもつ運転者が安全かつ快適に走行できる速度をいう。	
設計波高	design wave height	設計計算に用いられる波高。	
浅海域	shallow sea	水深が50m程度より浅い海域。	
線形	alignment	道路は直進あるいは左右上下に屈曲しながら帯状に続いているが、この形状を線形という。	
先住民	indigenous people	先祖伝来の土地あるいは強制的に定められた居住地で、土地と密接に結びついたグループを言う。国家社会と民族的、言語的、文化的に異質で地理的・経済的に独立、半独立の状態にある。	
線路容量	line capacity	駅間の1日に運転できる列車の本数。	
騒音	noise	好ましくない音。ある音が騒音であるかどうかということは、人間との関連においてとらえる限りでは主観的な問題である。	
操車場	yard	列車の組成または車両の入換をするために設けられた場所。	
測量	survey	地表面上の諸点の関係位置を定める技術。測量法では「測量とは、土地の測量をいい、地区の調整および測量用写真の撮影を含むものとする」と規定している。	

項	目	内 容
ターミナル	terminal concept	旅客ターミナルビルの型式は、通常航空機の駐機方式によって分類される。IATAではターミナル・コンセプトの種類を①フィンガー (Pier) 型式、②リニア (Linear) 型式、③サテライト (Satellite) 型式、④トランスポータ (Transporter、オープンエプロン) 型式及び⑤これらの組合せ型式の5つに分類している。
ターミナル管制情報 処理システム	ARTS (Automated Rader Terminal System)	ASR (空港監視レーダー) によって得られる航空機の運航情報をコンピュータで処理し、航空機の自動識別・追尾を行うほか、管制卓の表示面上に各航空機の便名、高度、対地速度等の飛行情報をディスプレイする。
大気汚染	air pollution	自然的、人為的に発生する微粒子による大気の汚染。汚染物質は液体、固体、気体等さまざまで、その発生源も多種多様である。主な汚染物質としては、いおう酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、粉じん等がある。
大量輸送機関	Mass transit	大量に旅客を輸送できる交通機関のこと。一般に陸上交通機関に限定して用いられ、鉄道やバスが代表的なものである。
短尺レール	shorter rail	標準長さ未満、5m以上のレール。
弾性波探査	elastic wave survey	弾性波探査とは地盤の弾性波速度を測定することにより地盤の層構造を調査することを指す。
地域社会	community	共同生活が営まれているあらゆる地域、また地域的基盤を持ったあらゆる共同生活。

項	目	内	容
地下水位	groundwater level	地下水面 (water-table)、すなわち飽和帯上面のある基準面からの高さをいう。地下水位は海拔高度により表したり、地表面あるいは井戸の測点からの深さで表す。地下水位は既設の井戸を利用して測定することが多いが、井戸がない場合には試掘や電気探査などにより測定する。	
地上交通	ground transportation	空港と都市を連絡するための地上アクセス交通のこと。リムジンバス、タクシーなどによる道路交通の他に鉄軌道による交通がある。	
地層	bed, stratum	いろいろの作用で砕かれた岩石の粒子または溶岩が、水・空気・重力などの作用で運搬され層状にたい積したもの。化学的に沈殿たい積したものも含む。たい積輪回という考え方から、火成岩体をも含めてある時期に生成した一連の火成岩たい積岩を総称して呼ぶことがある。	
チャンネル化	channelization	平面交差点における直進車や右左折車の円滑な分合流を図るため、導流島などを設置して交通の流れを一定方向に導く設計である。	
長尺レール	longer rail	標準長さを超え、200m未満のレール。	
導流堤	training levee, jetty	沿岸漂砂を阻止し、かつ水路を維持することを目的に、河海で水流を都合の良い方向に導くための堤防状構造物。	
土壤汚染	soil contamination	人の経済活動その他によって排出された有害物質が、空気や水などを媒体として土壤に集積すること。土壤は重金属類を強固に固定する特性をもつので、重金属を含有する水や大気に長時間接触されていると、重金属をしだいに濃縮し、蓄積していく。土壤汚染はこのようにして発生する蓄積性の汚染で、しかも一度汚染されると容易に除去できないという困難な面をもっている。	

項	目	内	容
土壌浸食	soil erosion	土壌が風化され、水で下方に流されたり、風で飛ばされる物理的現象のことである。土壌浸食の程度とその面積は、土壌の種類、斜面の勾配、気象条件、土地利用形態などが互に関連しあって決ってくる。	
土地所有権	land ownership	土地を占有したり、売却したり、遺贈したり、抵当に入れたりする独占的な権利をいう。近年では、政府や私有地の所有者が不法占拠者の保有を大目に見る場合もあり、新しい形の所有権が生じている。	
トリップ	trip	起点、終点間における1方向1回の移動。	
波返し	recurved parapet, manger board	海洋建築物の下部構造などの頂部に設けられたパラペットで、前面を凹曲面とし、当たった波を海面に返す機能を持たせたもの。	
二酸化炭素	carbon dioxide (CO ₂)	二酸化炭素は大気の成分で炭素の循環の重要な部分を占め、生物の呼吸、炭素をふくむ物質の燃焼に伴ない生成される。また火山からも放出される。それ自体は有毒ではないが、酸素呼吸を妨げ、窒息させる。また、地表からの赤外線放射を吸収する「温室効果気体」でもある。	
二酸化窒素	nitrogen dioxide (NO ₂)	窒素酸化物のうちの一つ。物の燃焼に伴って発生する一酸化窒素が酸化し生成されるもの、硝酸や窒素肥料の製造工場等から排出されるもの、自然界において微生物により生成されるもの等もある。通常人の生活する地域における大気中の二酸化窒素の大半は物の燃焼に由来するものと考えられる。	

項	目	内 容
熱帯雨林	tropical rain forest	熱帯地方の中で、年間のほとんどの月で100mm以上の降水量がある地域に成立する森林で、熱帯多雨林ともよばれる。巨大な群落構造とまっすぐにのびた樹幹などに特徴づけられる。
熱帯林	tropical forest	熱帯地方（おおむね赤道を中心に南北両回帰線（南北緯度23°26′）にはさまれた一帯）に分布する森林群落。
熱帯林行動計画	Tropical Forest Action Plan	熱帯林の適正な開発と保全を図るため、1985年にFAOで採択された行動指針。各国と国際機関が共同して措置すべき優先分野を挙げ、それぞれについての指針が示されている。
法面保護	slope protection	切土や盛土の傾斜面（法面）が雨水などによって崩壊するのを防ぐために、草木を植えたり、モルタルを吹き付けたりして防護すること。
バーゼル条約	Basel Convention	正式名称は「有害廃棄物の越境移動及びその処分に関するバーゼル条約」。UNEPが1989年に採択し、1992年5月に発効した。途上国の環境汚染を防ぐため、有害廃棄物は可能な限り国内で処理し、越境移動と処理する時は健康や環境を保護する方法で行うとしている。
パーソントリップ調査	person trip survey	人の動きに着目して、その起終点、目的、利用交通機関、所要時間等を、その人の属性（職業、年齢等）との関係において調査する交通調査の一つ。
媒介動物	vector	広義には病原体を媒介するすべての動物、すなわち寄生虫の中間宿主、病原体保有動物、ハエ・ゴキブリ・ネズミ、狂犬病のイヌなどまで含めるが、狭義には昆虫やダニ類のうちで、吸血または吸液に際し特定の病原体を宿主の体内に注入するものをいう。

項	目	内 容
バラストレス軌道	ballastless track	バラスト道床を用いない軌道。
ハンガー	hangar	航空機を整備するために収容する格納庫。
ピア	pier	旅客ターミナルのメインビルからエプロン地域へ突出した棧橋状の建物のこと。
ピーク率	peak factor	一日のうち最大の1時間交通量を日交通量で除したもので、通常は10%程度である。
微気象	micro meteorology	地表付近、せいぜい100mくらいまでの気層（接地層）の中でおこる気象現象。水平的には数mから数kmの範囲のものが多く、風の乱れ、煙の拡散、接地逆転などがある。
飛行場最低気象条件	weather minimum	航空機が安全に飛行場に離着陸できる気象限界を指す。この最低気象条件は、飛行場の施設、地形、航空機の種類・性能などによって異なるが、一般にはシーリング（雲底高度）と視程の最小値で示され、この条件以下の気象になるとその飛行場は閉鎖される。
漂砂	littoral drift	海浜における底質の移動現象。まれにはその移動する物質のことをいう場合もある。主に水位の変動、波および流れの作用に伴って生ずる。
表土	top soil	地表を構成する土壌の最上部で、もっとも風化がすすんだ部分。
貧栄養海域	poor nutrient zone	リン、窒素などを含む栄養塩類の不足している海域。
富栄養化	eutrophication	窒素またはリンを含む物質が閉鎖性水域に流入し、当該水域において、藻類その他の水生植物が増殖繁茂することに伴って、その水質が累進的に悪化する現象。

項	目	内	容
富栄養海域	rich nutrient zone	リン、窒素などを含む栄養塩類の豊富な海域。	
部民族	tribal people	家族、民族、世代などを構成要素とし、独自の習慣をもち、特定の地理的領域に居住する人々の集団。その国の社会の多数派と全く、あるいはほとんど接触をもたない場合が多い。	
文化財	cultural property	UNESCOの定義によれば、考古学・先史・歴史・文学・芸術・科学にとって重要な、その国にとって注目すべき、考古学的、歴史的、文化的あるいは自然的物質体で、国によって特に指定された宗教的あるいは非宗教的財産。移動可能なもの、移動不可能なもの、無形のものなどがある。	
粉じん	dust	風、火山の爆発、地震のような自然力あるいは粉碎、製粉、穴あけ、破壊、シャベル作業、運搬、ふるい、袋詰め、清掃などの機械または人の作業により空気中へ放出される個体粒子をいう、一般に粉じんの粒径は1~100 μ m程度である。	
閉鎖水域	semi-closed water area	水の交換が悪い水域を指し、内陸部においては湖沼、海域においては内湾や内海などがこれに相当する。一般的に廃水などが流入すると、海水や河川水による汚濁物質の希釈が望めず、汚濁物質が蓄積しやすくなる。	
ベラジオ会議	Bellagio Commission	熱帯林問題に関するベラジオ会議。1987年、88年に開催された、熱帯林保全の世界的戦略を検討するための国際会議で、林業研究強化の必要性と研究協力の方向を示した。	
保線	maintenance of way	線路を保守すること。	
マリーナ	marina	ブレッジャーボートのための係留機能、安全機能およびこれらに関するサービス機能を備えた総合的な施設。	

項	目	内 容
マングローブ	mangrove	熱帯、亜熱帯の海岸や河口など潮の干満のある遠浅の砂泥地に茂る常緑樹。林となって気根の発達する特殊な植生を形成し、重要な水生の生態系となる。
藻場	underwater forest, submarine forest	アマモなどの多年性顕化植物が繁茂しており、微生物が生息しやすい海域。
モントリオール議定書	Montreal Protocol	正式名称「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」。オゾン層の保護に関するウィーン条約に基づき、1987年9月カナダのモントリオールで採択され、89年1月に発効した。90年の第2回締約国会議では、ハロンの2000年までの全廃等が決定された。
誘導路(タクシーウェイ)	T/W (taxway)	航空機が駐機エプロンと滑走路(R/W)との間を移動するために設けられた舗装された通路を指す。また航空機が自力で誘導路を地上走行することをタクシーイング(taxing)をいう。
養浜	beach nourishment	海岸侵食を防止するため、侵食量に対応する土砂を人工的に補給し、侵食を現象的に阻止すること。局部的に著しく侵食される個所に効果がある。
ラムサール条約	Ramsar Convention	「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」の通称。1971年に採択され、75年発効した条約で、湿地及びその動植物の保全と、湿地の適正な利用とを目的とする。
ランディング エリア	landing area	航空機が離着陸するために設けられた矩形の区域を指し、滑走路やオーバーラン・エリアなど余裕の区域を含んでいる。計器着陸の場合では幅が150m以上と300m以上の2種類がある。

項	目	内 容
流域	river basin, watershed catchment area	河川の対象とする地点に集まってくる河水のもととなる降水が降下する地域を、その地点に対する集水区域または流域という。
流況	hydrological regime	河川の一地点における流量の年間変動の状況。年間の日流量を大きさの順に並べ、ある流量値と日流量がそれ以下の値を示す日数との関係を求め、これで河川の流況を示す。
列車運転システム	Train operation system	閉塞装置、信号装置、連動装置、転てつ装置、運転制御装置及び列車運転用の通話装置等を運転保安装置といい、これらの種々の組合せによるものを列車運転システムという。
列車自動制御装置	ATC (Automatic train control device)	先行列車との間隔および進路の条件に応じて車内に列車の許容最高運転速度を示す信号を連続して現示し、その信号現示に従って列車の速度を自動的に制御する装置。
列車自動停止装置	ATS (Automatic train stop device)	列車が停止信号を現示する信号機の外方の一定の地点に接近した場合、自動的にブレーキ制御を行い、列車を停止させる装置。
列車集中制御装置	CTC (Concentrated train control)	線区の列車運転情報を運転指令室に集中表示し、迅速的確な指令業務を行うとともに、停車場における列車の運転進路を直接制御（信号装置、転轍装置など）するシステム。
レッドデータブック	Red Data Books	国際自然保護連合発行の、世界の絶滅の恐れのある野生生物のデータ集。存続の危惧度を7つのランクに分類し、現在第9巻まで刊行されている。
路盤	roadbed	軌道を支持するため、天然地盤を加工して造ったもの。

項	目	内	容
ロングレール	continuous welded rail, long welded rail	200m以上の長さに溶接したレール。	
渡り栈橋	access pier, access bridge	陸と海洋建築物を歩行あるいは車両などで連絡するために海岸より突出した橋。	
渡り鳥保護条約	ICBP { International Council for Bird Preservation }	二国間渡り鳥等保護条約ともいう。渡り鳥の保護のために、それらの鳥類が相互に行き来する国同士で結んだ条約の総称。日本はオーストラリア、中国、旧ソ連と締結。	

出典リスト（運輸交通一般）

主な参考文献

- 「環境科学大事典」講談社、1980年
- 「自然災害科学事典」築地書館、1991年
- 「環境問題情報事典」日外アソシエーツ、1992年
- 「地球環境キーワード事典」中央法規、1990年
- 「地球環境用語辞典」東京書籍、1990年
- 「都市用語辞典」鹿島出版会、1978年
- 「土木用語辞典」技報堂、1988年
- 「道路用語事典」山海堂、1991年
- 「設計・施工のための港湾・空港ハンドブック」港湾ハンドブック編集委員会、昭和49年
- 「海洋建築計画指針」（社）日本建築学会、1988年

JICA